

## 2. 地域の熱中症リスク評価

### 事例3. 群馬県上野村(1)

- 人的要因と環境要因を組み合わせた「**熱中症スクリーニングシート**」を作成し、上野村の高齢者各個人の熱中症リスクについて**スクリーニング評価**を行った。

#### <熱中症スクリーニングシートの内容>

##### 人的要因：医療系専門職による監修

- ・「熱中症警戒アラートに対する受け止め」
- ・「年齢」
- ・「虚弱度」
- ・「簡易認知機能テストの結果」
- ・「水分の補給方法」等

##### 環境要因：総務部局関係者による監修

- ・「日照時間」、「エアコン設置状況」、等

対象者：上野村のすべての65歳以上の高齢者(約500名)。

調査方法：社会福祉協議会職員が高齢者宅でヒアリングを行い、結果をシートに記入(訪問面接調査法)。



#### ● 評価の結果

「**認知症高齢者の日常生活自立度**」を参考に医療系専門職の監修のもと熱中症リスクをハイ、ミドル、ローの3段階で評価。

- ・ 合計点数(16点満点)の上位33名をハイリスク

☞ **ハイリスクアプローチ** を展開

- ・ 9点以上をミドルリスク、8点以下をローリスクと分類

☞ **ポピュレーションアプローチ** を展開



～熱中症リスク スクリーニングシート～  
対象者氏名： \_\_\_\_\_

○家族構成

- ・ それ以外…0点
- ・ 高齢夫婦世帯…1点
- ・ 高齢独居世帯…2点

\_\_\_\_\_ 点

○上野村(自宅)に住んでいて熱中症になると思うか?

- ・ 思う…0点
- ・ どちらとも言えない…1点
- ・ 思わない…2点

\_\_\_\_\_ 点

○夏の日照時間(自宅) ※対象者の主観で判断

- ・ 短い…0点
- ・ どちらとも言えない…1点
- ・ 長い…2点

\_\_\_\_\_ 点

○エアコンの使用

- ・ よく使う…0点
- ・ どちらとも言えない…1点
- ・ 使わない…2点

\_\_\_\_\_ 点

○水分の補給方法(方法を聞く)

- ・ 意図的に行っている…0点
- ・ どちらとも言えない…1点
- ・ 行っていない…2点

\_\_\_\_\_ 点

○指輪っかテスト

- ・ つかめない…0点
- ・ 適度につかめる…1点
- ・ ゆるい…2点

\_\_\_\_\_ 点

○キツネ模倣テスト

- ・ 早くて正確…0点
- ・ どちらとも言えない…1点
- ・ できない…2点

\_\_\_\_\_ 点

○生年月日と現在の年齢

- ・ 早くて正確…0点
- ・ 片方正解…1点
- ・ 両方正解…2点

\_\_\_\_\_ 点

実施日 令和3年 月 日

<memo>

## 2. 地域の熱中症リスク評価

### 事例3. 群馬県上野村(2)

#### ● 特定されたリスクに応じた対策を講じる

##### ハイリスクアプローチ (ハイリスク者への対応)

#### ● ピンポイント支援の実施

<条件>

- ・「群馬県に熱中症警戒アラートの発表」
- ・「最寄りのアメダス(神流観測所)の暑さ指数が30超え」

#### ● 1回の支援時間は10分以内

- ・危険な暑さになっていることを伝える  
(スマホで熱中症予防サイトを見せる)
- ・外出自粛の指導
- ・室内を冷やす(窓を開ける等)
- ・水分補給

#### ● 平日は訪問、休日は電話対応

※電話不通の場合は訪問支援に切り替える

#### ● 支援後は、ICTツールを 使用して情報共有



##### ポピュレーションアプローチ (ミドルリスク者、ローリスク者への対応)

#### ● 筋力トレーニング

- ・職員の訪問もしくは利用者に通所してもらい提供。作業療法士、看護師が対応
- ・保水力の向上を目的とした筋力トレーニング情報を、7分の番組として作成し、地元ケーブルテレビ(村内放送)で1日3回配信  
訪問による運動指導を実施

#### ● 高齢者の特性を活かした広報、普及啓発活動

- ・挿絵や図、方言を多用したチラシを作成、訪問して説明しながら配布



▲運動指導



▲チラシ